

ABAX Ltd.

PRACTICAL READINGS 1:  
TEACHER'S NOTES

---

JAPANESE



## Unit 1: Art and Music Facts

### Objectives

- \* 説明文のスキミングとスキヤニング
- \* コロケーション（自然な単語の組み合わせ）を理解する
- \* アメリカとイギリスの数量の数の違いを理解する

### Lesson Lead In

- 1 学習者に、自分が最近みた映画（又はコンサートや読んだ本について）について話して聞かせる。
- 2 その後、好きな俳優或いは女優（又は歌手や著者）について、何故好きかを話して聞かせる。
- 3 学習者に、どの俳優／女優（又は歌手や著者）が好きかを聞く。
- 4 ユニット冒頭の質問をする。  
『Who are the best known musicians in your country?』
- 5 学習者から答を引き出しながら名前を板書し、終わったらクラス全体でベスト3を選ぶ。

注：4の質問は、musician のかわりに authors, singers など他の職業に変えてもか、合わない。

### Warmer

- 1 テキストの6ページを開かせる。
- 2 テキストの指示にあるように、学習者は挙げられている名前をグループ分けさせる。
- 3 (Optional) 次に、そこに挙げられているアーティスト達による著名な作品を知っていれば書き出させる。
- 4 (Optional) 著名な作家、画家、ミュージシャン等のリストを作らせる。

### Optional Warmer

- 1 下記の質問を口授、または板書する。（注：挙げてある以外の質問に替えても構わない。）
  - a. Do you read often read novels?

- b. Who is your favourite author?
  - c. Do you like listening to music in the morning?
  - d. Who is your favourite musician or group?
  - e. Do you like to look at art?
- 2 学習者は、その質問表を持ち（または板書された質問を見ながら）クラス・メレーの形態で教室を歩き回りながら互いに質問をしたり答えたりする。
- 3 2のタスクを5分間ほど行ったら学習者を席に戻らせる。クラス全体にタスクの結果を聞きながら、各質問について一番多かった答を見つける。

### Reading One

これは、一番最初のスキミング・アクティビティなので、学習者には辞書を使わずにできるだけ速く練習問題を終わらせるように指示をする。もし途中で知らない単語や、意味に確信の持てない単語が出てきたら、そこは飛ばして先へ進むように言う。速く読んで、エクササイズが終わったら鉛筆を置くよう言うておく。

- 1 テキストに戻り、7ページを開かせたらそこに載っている絵を見るよう指示する。そこに描かれている各人物についての説明が6ページに載っている、但し一つだけ説明のない絵があるが、それはどれか？と学習者にたずねる。
- 2 各自に考えさせた後、学習者同士で自分達の答を比較させる。

### Reading Two

- 1 テキストの指示に従ってレッスンを進める。これは最初のリーディング素材と比較し、より注意深く読むセクションであり、学習者は練習問題をこなすために十分な時間を与えられる必要がある。

『most successful pop singer』の概念が、学習者にとっては難しいかも知れない。『成功』の概念は数字で表すことができないので、従ってテキストには明確な情報を載せることをさけている。

### Usage Note:

本文には、いささか時代遅れの言い回しが含まれている。『**authoress**』という単語は、人によっては時代錯誤的な単語であると見なされる。この単語はジェンダーが特定されており、男女差別の単語であると考えられるのである。本書の編集部門では、著者が同単語を本文中に使用してテキストを執筆し、つまりはそれが現実的な言葉遣いの一例であるという点を鑑みて、原文のままに同単語を残すことで最終決定を下した。指導にあたる先生方においては、男女の別なく使用できるということで、『**authour**』の方が、より適切な単語であることを学習者に指し示されることもあろうかと思われる。『**Authoress**』は一般に使われる単語ではない。

### **Words**

このセクションの目的は、学習者をコロケーション（自然な単語の組み合わせ、或いはいかに単語が自然につながるか： "co" - "location" ）の概念に慣れ親しませることと、様々な数量やアメリカとイギリスの数量の表し方の違いを指導することである。

1 下記を板書する。

1 a tall tree      2 a high tree

例の1が、自然で一般的な単語の組み合わせである。2は間違いではない。形容詞である"high" は接頭修飾語であり、"asleep" や "awake" のような接尾修飾語とはちがひ、名詞の前につけることができるので、文法的に正しいと言える。しかし、やはりこれは自然な組み合わせではなく、このコンビネーションをネイティブ・スピーカーが使うことはあり得ない。

2 テキストの指示通りにレッスンを進める。学習者に、不自然な単語の組み合わせを探させる。

3 このエクササイズは、英語においては、数値に関する基準が一つだけではないということを学習者に教えることを目的としている。数値に関して英語には2つの基準が存在する。しかしながら、現在、それは一つの基準に統一される過渡期にあるといえる。アメリカ式のシステムが、こと数値においては英語の基準となりつつあり、事実既にそれを基準として

いる使っている業界は少なくない。本書では古いシステムを教えているという見方もできるが、学習者に異なるシステムの存在を気付かせることは重要であり、また学習者が将来、この古い数え方に出くわす可能性もあるのである。

### **Beyond the Word**

ここでは、今一度学習者に、テキストにある本文をより注意深く分析させることを目的とする。テキストの指示通りにレッスンを進める。

- 1 学習者に、本文を参考にしながら穴埋め問題を解くよう指示する。
- 2 答えあわせをする。一つの問に対して可能性のある解答がいくつかあるので、学習者からは様々な答が返ってくるであろうが、それで構わない。

### **Reading Three**

このセクションで、学習者にもう一度本文に注意を向けさせる。テキストの指示通りにレッスンを進める。

- 1 学習者にこのセクションのエクササイズを行わせる。
- 2 クラス全体で答えあわせをする。

### **Beyond the Text**

- 1 学習者に、各自自分の席で問題を解くように指示する。当セクションのこの部分を、できるだけ速く済ませるようにする。
- 2 テキストの指示に従ってレッスンを進め、学習者にはペアになった相手に質問を3つするよう指示する。
- 3 テキストの指示通りにレッスンを進める。学習者に、席を立って教室を歩き回りながら質問をしたり答えたりするよう指示する。指導者自身もその輪に入って、エクササイズを一緒に行うとよい。学習者に席に戻るように言う。指導者は、クラス全体から、多かった答と興味深い答を引き出す。

このセクションは、一つ前のセクションと比較してあまり活動的ではなく、また第二言語習得への直接的な貢献度が決して高いとも言えないが、一つ前のセクションおよび同ユニット自体に、コミュニケーション的な意義を与えるという点

で、重要なセクションである。

### **Extension**

- 1 学習者をペアにし、有名な作家と有名なミュージシャン（各5人）のリストを作らせる。
- 2 指導者は、リストを読み上げさせるなどして名前を言わせ、クラス全体で一番答えの多かった作家とミュージシャンの名前を選びだし、ともにトップ3まで（計6人）を板書する。
- 3 各ペアは、その6人から1人を選び、その人物についての説明を協力して書きあげる。
- 4 書き終わったら、同じ人物についての説明を書いたペアを見つけ、それぞれの書いた内容を比較する。

## Unit 2: Flat Hunting

### Objectives

- \* 必要な情報を得るための速いスキヤニング
- \* 詳細を知るための熟読
- \* 省略形
- \* 前向きな言葉使い

### Lesson Lead In

- 1 分譲住宅など、売り家のチラシを用意する。(新聞折込、または駅の近辺で配られている手近なものよい。)
- 2 クラス全体に、こうしたチラシにじっくり目を通したことがあるかと聞き、目を通した理由または目を通さない理由を聞いてみる。
- 3 用意したチラシに紹介されている家(またはマンション)の間取りはどのようなになっていると思うか聞いてみる(部屋数やどんな部屋があるか)。もし、living room などといった英語での部屋の言い方がわからなければその都度教える。学習者が意見を出すにしたがって板書していく。
- 4 こうしたチラシを配るのは家を売る方法の一つだと言い、学習者に他に家を売る方法を知っているかと聞く。つまり、ユニット冒頭の質問をする。:

How do people sell flats (or houses?)

### Warmer

- 1 学習者にテキストの10ページを開くよう指示する。
- 2 エクササイズを行わせる。
- 3 学習者に、家を売るためにはその他どんな方法があるかと問いかけ、思い付く方法をテキストの余白に書き留めさせる。(Warmer 1の見出しの上あたりに) 雑誌、チラシ、オープンハウス、展示会、ショールームなど、明解な言葉で書くようにさせる。
- 4 学習者が思い付いた方法で、一番多かったのは、どれか?
- 5 指導者の判断で、テキストに提示されているイギリス英語の言い回しについて、学習者に説明してもよい。

UK

US

estate agents  
flat

real estate agent  
apartment

### Optional "Active" Warmer

- 1 下記の質問を、口述または板書する。
  - \*Where do you live?
  - \*How long does it take to get to school?
  - \*What kind of place do you live in?
  - \*What's your neighbourhood like?
  - \*Do you like your place?
- 2 学習者に、席を立てて教室を歩き回りながら、クラスメート達に上記の質問をしたりそれに答えたりするよう指示する。
- 3 5分ほどこのエクササイズを行ったら席に戻らせ、質問の結果をクラス全体に聞きながら、そのクラスの傾向を探る。
- 4 答にあった以外に、どのような住まいがあるかを学習者から引き出し、英語での言い方がわからないものがあれば、その語彙を提示する。

### Alternate Warmer Two: Vocabulary Focus

- 1 下記の単語を板書する。

Furniture	Neighborhoods	Kinds of Place
- bed	- quiet	- dormitory
- sofa	- downtown	- palace
- 2 学習者に、板書されたリストに書き加えるとしたらどんなものがあるかを考えさせる。
- 3 答をクラス全体から聞き出しながら、板書していく。
- 4 もし時間がゆるせば、次のような質問を投げかけながら、エクササイズを発展させてもよい：
  - \*What sort of place would a rock star live in?
  - \*What sort of place would a university student live in?

### Reading One:

このセクションでは、全体的な意味を掴むためのリーディングを行う。辞書を使わずに速く読むことが重要である。

- 1 学習者に、提示されているエクササイズをできるだけ速く終えるように指示を出す。
- 2 読み終えて、答がわかったら鉛筆を置くよう言う。

### Reading Two:

このエクササイズは、推測をたてること及びより詳細を知るためのリーディングをすることが学習者に要求される。

- 1 学習者に、より注意深くじっくりと本文を読むよう指示を与える。
- 2 終わったら、他の学習者と答合わせをするよう言う。
- 3 学習者に、下記の質問を投げかける：  
What kind of place would you like to buy? (或いは : Which place is the most popular?)

### Words:

#### Words 1.

- 1 課題を導入することを目的に、"ASAP" の意味を学習者に聞く。その後、指導者は FYI、INHO 等他の省略形を教える。
- 2 学習者に、テキストの指示にしたがってアクティビティを行うよう指示する。
- 3 他の学習者と答えあわせをするよう指示する。
- 4 今一度テキストの広告記事に戻り、使われている省略形を元の単語に直した形で本文を読ませる。

#### Words 2.

このセクションでは、推測する技術を使うことが学習者に要求される。ここには正解・不正解はなく、答は人によって違う。若い大学生には静閑な環境は退屈に感じられ、刺激のある場所に住みたいと思うかも知れないが、小さい子供のいる家族なら静かな場所に住みたいと思うであろう。

一方、「(家賃に) 光熱費は含まれず」あるいは余程頻繁に利用するのでない限

り「飛行場のそば」などといった悪条件について考慮することを第一とするひとも少なからずいるはずである。

- 1 テキストのエクササイズを行わせる。(箱にチェックをいれる。)
- 2 学習者に、自分達の意見を言わせる。

### **Beyond the word**

このエクササイズは、レッスンのまとめとして行うことのできる、フォローアップのためのロール・プレイ練習の準備にもってこいのアクティビティである。

- 1 テキストの指示に従ってレッスンを進める：学習者に、必要な情報を得るための質問を書かせる。
- 2 できあがった質問をクラス全体から引き出す。

註：正解となる質問は一つだけではなく、いろいろな質問が考えられる。学習者から引き出された質問を全て板書し、一つずつ確認していく。

### **Reading Three**

- 1 学習者に、テキストの指示に従ってエクササイズを行わせる。
- 2 クラス全体で答えあわせをする。

### **Beyond the text**

テキストの指示通りにレッスンを行う。

### **Extension**

前出の各セクションのアクティビティで学習したことを、ロールプレイ練習へとつなげる。学習者に、不動産屋と顧客の役割をふり、不動産屋の役の学習者は自分の家を顧客に売る、顧客の役の学習者はその家の条件についての質問をする、というロールプレイをする。

## Unit 3: How Practical Are You?

### Objectives

このセクションは、ユニット2を自然に受ける形になっている。前課では住宅について取り上げたが、この課では、暮らし或いは日常の些事をどうこなすかなどについて注目して学習する。

- \* 詳細を読み取る
- \* 文中のある単語や考え等の意味を、文脈から理解する。(一つの単語に複数の意味がある時、その意味を文脈によって使い分け、或いは認識をすることができる)
- \* "can" と "could" の使い分け

### Lesson Lead In

- 1 クラス全体に、自分の部屋を持っているかを聞く。その掃除は誰がするかを聞く。
- 2 下記を板書する。:  
cook meals                      clean your room                      wash your cloths
- 3 学習者をグループにし、この日常的な作業をどのくらいの頻度で行っているかを互いに質問させる。

註：このアクティビティには配慮が必要である。学習者、特に女子の学生は一人暮らしをしていることをクラスメートに知られたくないと思っているかもしれないからである。「一人で住んでいますか？」といった直接的な質問をさせないようリードすることが大切である。

### Warmer

- 1 テキストの指示に従い、まず学習者に一人で各項目のランク付けをさせる。
- 2 ペアになり、互いの答を比較させる。
- 3 クラス全体で答を比べる。

### Alternate Warmer

学習者に、家事のリストを作らせる。下記を板書し、自分で作ったリストの項

目を3つのカテゴリーに分けてつけ加えるよう指示する。

Everyday chores

Weekend chores

Monthly chores

Shopping

do the vacuuming

wash the windows

註：このリストは、当然のことながら学習者のもつ文化的な背景によって違ってくる。

### Reading One

テキストの指示に従い、下記の手順で行う。

- 1 1 3 ページ右側の絵に注目させる。
- 2 次に左側の質問を読ませる。
- 3 4つの絵のうち2つは、左側のどの質問をも表していないと説明し、そのあてはまる質問のない2つの絵に×印をつけるよう指示する。
- 4 ペアで、答えあわせをさせる。

これは、本文を最初に目にするスキミング・アクティビティなので、辞書を使わず、なるべく速く終わらせるよう指示する。もし知らない単語や意味がはっきりとはわからない単語があっても、飛ばして次に進むようにさせる。速く読んで答えを見つけたら、鉛筆を置くよう言う。

### Reading Two

このセクションは、2つのエクササイズで構成されている。最初のエクササイズは1 4 ページ、2つめは1 3 ページをそれぞれ使っておこなう。

- 1 学習者に、1 4 ページに提示されている文をつなげるよう指示する。
- 2 次に1 3 ページの質問表を完成させるよう指示する。
- 3 クラス全体で、誰が一番実用的なことに長けているか、また誰が一番そうでないかを探してみる。

### Words:

#### Part 1.

このセクションでは、動詞の使い方、つまりどの動詞はどの目的語と一緒に通

常使われるかという、動詞- 目的語の自然なつながり、コロケーションについて学習する。

- 1 テキストの指示に従って進める。

## Part 2.

このセクションでは、よく使われる動詞- 前置詞や前置詞- 名詞の組み合わせなど、前置詞の使い方を取り上げる。

- 1 テキストの指示に従って進める。

## Beyond the word

このセクションの2つのエクササイズは、'can' と 'could' の違いに着目する。少し力のあるクラスなら、時間的な空間の感覚だけでなく、社会的立場における空間の感覚、そしてある仮定の話がどの程度現実味を帯びているかなど、ある事物や事象の自分からの距離という、この2つの単語の違いを説明する概念を使って示してもよい。例えば、'could' は 'can' よりも丁寧な言葉遣いであるが、それは自分がそれを使う相手に対して距離を持っている、つまりあまり良くしらない相手であったり地位が上の人であったりなど、丁寧な言葉を使う方が適切だからである。しかしながら、こうした説明はあまり力のないクラスにおいては省き、このセクションのエクササイズの答は通常の方法で説明をする。

- 1 テキストの指示に従って、エクササイズを行わせる。
- 2 クラス全体で答合わせをする。

### III. could

理由：'if'はそれが起こる可能性が低いことを表す（話し手からの距離がある）

### IV. can

理由：'am'は現在の状態を表し、仮定の話ではない（話し手からの距離が短い）

### V. could

理由：'if'はそれが起こる可能性が低いことを表す（話し手からの距離がある）

### VI. couldn't

理由：過去形である（話し手からの距離がある）

can

理由：現在形である（話し手からの距離が短い）

### VII. can't

理由：現在形、つまり現在の話である（話し手からの距離が短い）

## Reading Three

### Part 1.

テキストの指示に従い、エクササイズを行わせる。

### Part 2.

テキストの指示に従い、エクササイズを行わせる。

自分の回りにいる人物で、これら3つの説明にそれぞれ当てはまる人を思い浮かばせる。例えば、両親や兄弟姉妹、友だちなど。

## Beyond the text

テキストの指示に従い、エクササイズを行わせる

- 1 一人で生活するのに役立つことで、テキスト本文に載っていないことを3つ考えて書かせる。
- 2 ペアで答を比較させる、あるいは前に出て答えを板書させる。

## Extension

- 1 学習者をグループにする。
- 2 上記で板書した答を参照にする、もしくは自分のテキストに書いた3つの答を持ち寄り、ディスカッションしてグループ内で最終的に3つの事柄を選ぶ。
- 3 クラス全体で、各グループの答を比較する。

## Unit 4: Treasure Island

### Objectives

- \* スキャニング
- \* 詳細を知るための熟読
- \* 動詞- 目的語のコロケーション
- \* 冠詞
- \* 命令形

### Lesson Lead In

- 1 下記を板書する。

6 Days 7 Nights                  Cast Away                  Lord of the Flies                  Robinson Crusoe

- 2 学習者に、上にあげた映画や小説に共通する事柄は何かとたずねる。

もし学習者が何も思い付かなければ、こう話して聞かせる：

「All of the main characters of these stories were travelling on a plane or a ship.

And they all had accidents, and they were thrown into the ocean. The accidents Happen at the very beginning of the stories. What do you think, will happen to These people?」

- 3 学習者にユニット冒頭の質問を投げかける：

What sort of things do you expect to find on a desert island?

- 4 学習者の出す意見を板書する。

### Warmer

- 1 テキストの指示に従い、学習者をペアにして、a から f までのコンパスの方角を書き込ませる。

- 2 簡単な質問を投げかけ、学習者が方角の言い方を理解できているかを確認する：

まず、下記のように言う。

「Look at the map. Look at the key. The key is in the top left corner. There is a village, long grass, a tree, a beach, palm trees, a dead tree, a wreck, a river, mountains, a tower

and a marsh. Look at the map again.」

次に下記の質問をしながら、学習者が理解できているかを確認する。

- 1) How many villages are there? Where are they?
- 2) Where is the wreck?
- 3) Where is the marsh?
- 4) Where is the tower?
- 5) Where is the beach?
- 6) Where are the palm trees?

### **Alternate Warmer One:**

- 1 指導者は、予め Key の中から 9 つを選び、3 x 3 のマス目上にそれらを位置させる場所を決めておく。
- 2 各学習者に、まるばつ遊びの 3 x 3 (計 9 つ) のマス目を描かせる。
- 3 指導者は、選んでおいた 9 つの事物を一つずつ英語で説明して聞かせ、その位置も指示する。
- 4 学習者は、聞こえた通りに事物を正しい位置に描く。

このエクササイズは、レッスンに出てくる語彙を学習 (学習者によっては復習) するとともに、後のエクササイズに出てくる命令形に少しふれることができ、また位置を表す簡単な前置詞をも導入することもできる。

### **Reading One**

- 1 このリーディングを始める前に、17 ページの右側に描かれている危険な生き物の名前とスペルを一つずつ確認する。
- 2 テキストの指示に従ってレッスンを進める。
- 3 クラス全体で答合わせをする。

### **Reading Two**

- 1 テキストの指示に従ってレッスンを進める。学習者全員が、宝に通じる道筋をたどってテキスト上に線を書きこむよう明確に指示を与える。
- 2 誰が一番先に宝にたどりつけるかを競わせる。

## Words

### Part 1.

1 動詞- 目的語のコロケーションの概念を説明する。

2 下記を板書する：

a car

drive a motorcycle

a plane

a truck

3 学習者に、4 つのうち2つは自然なコンビネーションで、残りは不自然なコンビネーションであると話す。どれが自然な組み合わせかを明確にする。

(a car, a truck)

4 下記を板書する：

a motorcycle

a plane

ride \_\_\_\_\_

fly \_\_\_\_\_

5 空欄に入れることのできる単語のいくつかを、明確に教える。

ride : a bicycle, horse, tricycle

fly : a kite, a helicopter, a glider

6 テキストの指示に従い、学習者に<Word 1>を行わせる。

<オプション- 日本語のコロケーション>

コロケーションの概念をより分かりやすく説明するために、日本語のコロケーションを提示しても良い。例えば：

乗る：自転車、馬

運転する：自動車、電車

操縦する：飛行機、ヘリコプター

### Part 2.

このエクササイズは比較的難しく、提示された単語をどう見るかによって答えはいくつも考えられる。巻末の Answer Key では、それが必ずしも危険信号を意味

するわけではないという理由から、"Attention!" を正解としている。しかしながら他の解答もあり得るので、正解以外を答とした学習者が、何故それを答にしたかをきちんと説明できる限り、『その答は間違いである。』と言うのは控えない。答、あるいは答の理由として考えられるのは、次の通りである。

i. Warning! 動名詞だから。

ii. Attention! 感嘆詞としての名詞だから。

iii. Watch out! 句動詞だから。

等等など。独創的な理由をもって回答した学習者は、大いに誉めてあげたい。

## Beyond the Word

### 1) Articles

1 このエクササイズを始める前に、下記を板書し、ターゲットについて指導をしてもよい：

Last night I found a dime. The dime was an old coin from 1961. The coin had a picture of an old sailing ship. I found the coin under the carpet in my room.

板書した上記を学習者に読ませ、それぞれの文の中で、'a' と 'the' がどう使い分けられているかをたずねる。

### 2) Giving Instructions

このアクティビティは、このユニットの最後に用意されている、まとめのエクササイズの準備をするために必要なものなので、これを行うことは重要である。また、回答については巻末の Answer Key 以外の答も可能である。

1 テキストの指示に従ってレッスンを進める。

2 答合わせをする。

3 正解以外の答を確認する。例えば、"go" の代わりに"walk"など。

## Reading Three

1 テキストの指示通りにレッスンを進める。

## Beyond the Text

1 テキストの指示通りにレッスンを進める。

2 次に、島にある一つの村からもう一つの村までの道筋を教えるという作業を行わせる。北西の村、南東の村、どちらを出発点としても構わない。

### **Extension**

1 学習者をペアにし、各自教室から学内の他の部屋までの道順を書くよう指示する。

2 書き終わったら、道順を書いた紙を交換して読む。相手の書いたものが、どの部屋への道順かをあてる。



### Alternate Warmer One

テキストの **Warmer** を発展させ、世界の地域ごとに同じ質問を行ってもよい。

Can you name a rich country in Asia, Europe, the Americas.....

Can you name a poor country in Asia, Europe, the Americas.....

### Reading One

テキストの指示に従ってレッスンを進める：

- 1 21 ページを見るように言う。
- 2 20 ページの説明文は、1つを除いては21 ページの表やグラフを表しているとして説明し、対応するグラフ或いは表のない説明文に印をつけるよう指示する。
- 3 次に、対応する説明文のない表或いはグラフに印をつけるよう指示する。
- 4 終わり次第鉛筆を置くよう指示しておく。

### Reading Two

このエクササイズでは、20 ページの本文だけでなく、21 ページの表とグラフにも注意をはらうことが要求される。

- 1 テキストの指示に従って、エクササイズを行わせる。
- 2 クラス全体で答えあわせをする。

### Words

#### Part 1.

このセクションでは、数量と英語での数量の表現を取り上げる。

- 1 テキストの指示に従って、エクササイズを行わせる。
- 2 クラス全体で答合わせをする。

#### Part 2.

2つめのエクササイズは、簡単な前置詞の使い方を取り上げる。

- 1 テキストの指示に従って、エクササイズを行わせる。
- 2 クラス全体で答合わせをする。

### Beyond the Word

このセクションは、意味が明確であるときにはその一部を省くという、文の特徴について取り上げる。

- 1 テキストの指示に従って、エクササイズを行わせる。
- 2 クラス全体で答合わせをする。

### Reading Three

ここでは、必要な情報を得るため、学習者は今一度テキスト本文を読ませることが要求される。

- 1 テキストの指示に従って、エクササイズを行わせる。
- 2 クラス全体で答合わせをする。

### Beyond the Text

このエクササイズは、ペアやグループ或いは一人で行わせてもよい。

- 1 テキストの指示に従って、エクササイズを行わせる。
- 2 クラス全体で答合わせをする。

### Extension

簡単なインフォメーション・ギャップのペアワークを行う。下記を、A・B 別々にコピーしておく。学習者をペアにし、ペアの片方に「Student A」のシートを、もう片方に「Student B」のシートを配る。各ペアは、自分のシートにない情報を得るために互いに質問しあい、自分のシートの穴埋めをしていく。

#### Student A

	AUSTRALIA	JAPAN
Population	19,164,620	
Area		<b>145, 882 sq. mi.</b>
Number of chickens		<b>296,000,000</b>
Number of TVs		<b>708 per 1000 persons</b>
Number of doctors	<b>1 per 389 persons</b>	

**Student B**

	AUSTRALIA	JAPAN
Population		<b>126,549,976</b>
Area	2,967,900 sq. mi.	
Number of chickens	85,000,000	
Number of TVs	639 per 1000 persons	
Number of doctors		<b>1 per 522 persons</b>

## Unit 6: Prehistoric Animals

### Objectives

- \* スキミング／スキヤニング
- \* 形容詞- 名詞のコロケーション
- \* 'become' の使い方
- \* 関係詞節
- \* スピーキングの練習

### Lesson Lead In

- 1 学習者に、映画「ジュラシック・パーク」を観たことがあるかと聞く。映画に登場した動物を英語で何と呼ぶかたずねる。(答：dinosaurs)
- 2 もし映画を観たことがあれば、登場した恐竜の名前を覚えているかと聞く。それら恐竜にはそれぞれどのような特徴があったかをたずねる。
- 3 学習者をグループにし、恐竜以外に先史時代の動物を何か知っているかディスカッションさせる。これが、ユニット冒頭の質問にあたる：  
Can you name any prehistoric animals in English?
- 4 各グループから出された答を、クラス全体で確認する。

### Warmer

- 1 学習者に、テキストの指示に従ってエクササイズを行わせる。
- 2 そこで使われている語彙を理解できているかを確認するため、取り上げられている動物についての質問をする。

What is the animal            that have sharp teeth  
   that are slow-moving  
   that have good eyesight etc....

### Optional Warmer

下記を板書する：

「This animal has short legs. It can sting. It can swim. It is a very good swimmer. It walks on land.」

ここまで書いて、学習者がこの動物は何かわかるか、様子を見る。

徐々にヒントを書き足していく。

It has short arms.

It has fur.

It has a mouth that looks like a duck.

It lives in Australia.

### Reading One

- 1 学習者に、テキストの指示に従ってエクササイズを行わせる。
- 2 スキミングが目的なので、なるべく速く済ませるよう指示し、終わったら鉛筆を置くようにさせる。

### Reading Two

- 1 学習者に、テキストの指示に従ってエクササイズを行わせる。
- 2 スキャニングが目的なので、なるべく速く済ませるよう指示し、終わったら鉛筆を置くようにさせる。

### Words

- 1 もし必要であれば、ユニット1を参照にする。
    - a) コロケーションの概念を復習する。

high - mountain, waterfall, bridge

tall - tree, man, building
    - b) ユニット1 / ページ8の、コロケーションを取り上げたエクササイズを参照する。
    - c) 次に、テキストの指示にしたがってレッスンを進める。
    - d) 答えあわせをするが、ユニット1でもふれたとおり、正解・不正解はなく、どちらかといえば自然な使い方の傾向が反映されているということ念頭におく。

例えば、"large"という形容詞は様々な名詞と組み合わせることができるが、"sharp" はあまり広範囲に使うことはできない。
  - 2 学習者に、テキストの指示に従ってエクササイズを行わせる。
  - 3 学習者に、テキストの指示に従ってエクササイズを行わせる。
- "endangered" と "extinct" の違いについて再確認する。下記を板書し、空欄にど

これらの単語が入るかを聞き、個々の意味が理解できているかをチェックする。

The Japanese wolf is \_\_\_\_\_ .                      The Japanese crane is \_\_\_\_\_ .

### **Beyond the Word**

**Part 1** 同意語を探すエクササイズである。語彙を増やすことに加え、ここでは学習者に今一度本文を読ませることをも目的としている。学習者にエクササイズを行わせ、'become extinct' の同義語を全て探し終わったら鉛筆を置くよう指示する。

**Part 2** 関係代名詞を取り上げる。このタスクをするにあたっては、提示されている文の最初や最後の単語は必要なくなることが多いので、必ずきちんと1つの文として書き直すよう指示する。

**Part 3** a) 終わったら鉛筆を置くよう指示を与えてから始める。  
b) クラス全体で答えあわせをする。  
c) できあがった文を読み上げる。

### **Reading Three**

- 1 学習者に、テキストの指示に従ってエクササイズを行わせる。
- 2 本文に含まれているヒントを指摘しながら、答えあわせをしていく。

### **Beyond the Text**

- 1 動物の名前をいくつか板書する。
- 2 クラスを2つのグループに分ける。グループ A は黒板に背を向ける。指導者は板書された中から動物を1つ選び、グループ B の学習者達と一緒にその動物についての説明文を書き上げる。
- 3 書き終わったら、グループ A はその説明文を読み、どの動物についての説明かを当てる。
- 4 説明の仕方がわかったら、テキストにあるようにグループになってエクササイズを行う。

## Extension

- 1 人のからだの部分を表す名詞を板書する。更に、各部位に組み合わせることのできる（コロケーションにのっとった）形容詞を明確に並記する。
- 2 白紙を各学習者に配り、板書されている語群を使って自分についての描写を書かせる。
- 3 書き終わったら、クラスの数に応じて学習者を5～10人位のグループに分ける。各グループ内で、自分達の書いたものをまとめてシャッフルし、再度配り直す。
- 4 各グループ内で、一人ずつ自分に回ってきた説明文をグループのメンバーに向けて読み上げる。
- 5 聞き手は、それが誰の書いたものかを当てる。

## Unit 7: Origin of English

### Objectives

- \* スキャニング
- \* 意味を掴むためのリーディング
- \* 時の指標
- \* 動詞+不定詞
- \* 動詞 to 名詞

### Lesson Lead In

- 1 学習者に、『Tempura、Korokke、Stake』という3つの言葉の共通点と相違点は何かとたずねる。板書してもよい。
- 2 学習者に意見を出させたあと、もし学習者が共通点と相違点が何か分からなければ、答をおしえる。  
3つの単語はどれも外来語ではあるが、もとの言語がそれぞれポルトガル語、フランス語、英語というように違う。  
(「天ぷら」については、イタリア語又はスペイン語という説もある。)
- 3 学習者をグループにし、他に日本語のように聞こえるが実はそうでない単語についてディスカッションさせる。
- 4 各グループから答を引き出しながらそれを板書し、クラス全体で各単語を確認する。
- 5 学習者に、英語にも日本語と同じように他の言語を起原とする単語がたくさんあると話す。

### Warmer

- 1 学習者に、テキストの指示に従ってエクササイズを行わせる。
- 2 クラス全体で答合わせをする。

### Reading One

ここでは、より詳細を読み取ることが必要とされる。また、エクササイズを行うにあたっては言葉について等、いくつかの知識が必須となる。例えば、語句のグループについての知識であるが、"Germanic" が "Germany" の形容詞の一つ

であることを知っていなければならない。また、西暦840年が8世紀ではなく9世紀の年であることも知っている必要がある。もし、こうしたこのユニットの内容に関して知っていなければならないことを、学習者が知識として持っているか否かが不明な場合は、エクササイズに入る前にチェックしておくようにする。

- 1 学習者に、テキストの指示に従ってエクササイズを行わせる。
- 2 クラス全体で答えあわせをする。

## Reading Two

詳細を読み取る。

- 1 学習者に、テキストの指示に従ってエクササイズを行わせる。
- 2 クラス全体で答えあわせをする。

## Words

### Part 1.

このエクササイズでは、動詞+不定詞の組み合わせを取り上げている (began to occupy, failed to survive, continued to use)。テキストの中では、特に比較あるいは学習目標として取り上げられてはいないが、英文法における動詞+不定詞の組み合わせは、通常、動名詞との対としてとらえられ、両者の意味の違いやコロケーションの面から見た組み合わせの傾向の違いが、学習者にとっては難しい領域だと言える。

同じ動詞を使った不定詞と動名詞の意味が違う例の一つには、"remember to go" と "remember going"が挙げられる。

また、単語の組み合わせ- コロケーションの問題もある。いくつかの動詞は、不定詞、動名詞両方を取ることができる ("like to play" - "like playing") が、そうでない動詞もある ("enjoy plaing" は自然で正しい組み合わせであるが、"enjoy to play" は文法的に正しくない)。

エクササイズで取り上げている言葉に関して言えば、"began" と "continued" はどちらも不定詞と動名詞をとることができ、その意味にも大きな違いは生じない。しかし、"failed" はほとんど必ずといって良いほど不定詞しかとらない。

- 1 学習者に、テキストの指示に従ってエクササイズを行わせる。
- 2 クラス全体で答えあわせをする。

## Part 2.

このセクションでは、動詞+不定詞の組み合わせをもう一度見直すことを目的とする。

- 1 テキストの指示に従ってエクササイズを行わせる。
- 2 クラス全体で答えあわせをする。

## Part 3.

このセクションでは、一つの単語を基とする、様々な品詞の単語を取り上げる。

- 1 テキストの指示に従ってエクササイズを行わせる。
- 2 クラス全体で答えあわせをする。

## Beyond the Word

このセクションでは、時の指標として使われる前置詞を取り上げる。

- 1 テキストの指示に従ってエクササイズを行わせる。
- 2 クラス全体で答えあわせをする。

## Reading Three

このセクションでは、言語の帝国主義という興味深い側面を取り上げる。

- 1 学習者に、テキストの指示に従ってエクササイズを行わせる。
- 2 本文に含まれているヒントを指摘しながら、答えあわせをしていく。

## Beyond the Text

エクササイズ1と2は、接頭語と接尾語に関する知識を使い、知らない単語の意味を推定する練習へつなげることができる。板書するなどして、学習者にその意味を推測させるのに適した単語には、"unimaginative", "inexactness", "illogical" などがある。

- 1 テキストの指示に従ってエクササイズを行わせる。
- 2 クラス全体で答えあわせをする。

エクササイズ3は、下記の手順で行うこともできる。

1) 下記を板書する：

A. Last night I went to see a "nighter".

B. All the players were "warming up" when I got there.

C. The pitcher had a great "curve" and great "straight".

D. My favourite player didn't get a "homerun" but he did have a nice "timely".

E. I bought some "pop corn" at the gaem.

2) 学習者に、印のついている言葉に注目し、どれが英語でどれが和製英語かと問いかける。

3) 下記を板書する：

English words

Not English words

学習者に考える時間を少し与えた後、答を聞き出しながら各言葉を上記二つのカテゴリーに書き入れる。

3 学習者に、テキストの指示に従ってエクササイズを行わせる。

4 上記のカテゴリーに、3つずつ単語を書き加えるよう指示する。

### Extension

1 接頭語が単語の意味を変化させるのに対し、接尾語は単語の種類を変化させるものだと説明する。下記を板書する。(できれば接頭語と接尾語の部分をそれぞれ違う色を使って書く)

important

unimportant

unimportantly

2 学習者から、様々な接尾語を引き出す。学習者は、思った以上にいろいろな接頭語を知っているものである。接頭語が出るごとに、それを有する単語の例をあげさせ、品詞の種類を聞き出しながら明確にする。

## Unit 8: Household Tips and Advice

- \* スキミング
- \* コロケーション
- \* 談話 (discourse) に注目する
- \* 省略のしかた
- \* 推測する
- \* 指示 (ある単語が、テキストのどの部分を指しているかを理解する)

### Lesson Lead In

- 1 学習者に、指導者自身のアドバイスにまつわる経験談を話して聞かせる。  
アドバイスしたこと、されたこと、どちらでも構わない。例えば：  
One day I was having a trouble with my computer. It just kept hanging up on me. My colleague was watching me getting frustrated, and gave me a small tip. It really was a weird one, and I said “come on, you must be kidding me.” But, when I tried it, it actually worked. I don’t think you’d believe me if I tell you what she said. What do you think it was?
- 2 学習者から答を引き出しながら板書していく。
- 3 学習者に答をおしえる。上記の話の場合は、  
“Threaten your computer. Tell it you are going to put it out, and replace it with a fancy new computer.”  
学習者に、コンピュータは感じたり考えたりできると思うかと聞く。
- 4 学習者をグループにし、ユニット冒頭の質問についてディスカッションをさせる。  
What kind of things do people give you tips about?
- 5 クラス全体で出てきた答を確認しあう。

### Warmer

- 1 テキストの指示に従って、エクササイズを行わせる。
- 2 クラス全体で答えあわせをする。

### Reading One

テキスト右側に6つの絵が載っている。そのうち一つには、テキストの左側にその解決法が載っていない。学習者は5つの解決法を読み、解決法がないのはどの絵で表されている問題かを考える。

- 1 テキストの指示に従って、エクササイズを行わせる。
- 2 クラス全体で答えあわせをする。

### Reading Two

このエクササイズでは、「問題とその解決法をつなげる」という、書かれた意味を理解するためのリーディングを行う。

- 1) テキストの指示に従って、エクササイズを行わせる。
- 2) クラス全体で答えあわせをする。

### Words

このセクションでは、2つのエクササイズはどちらもコロケーションを取り上げている。

- 1 テキストの指示に従って、エクササイズを行わせる。
- 2 クラス全体で答合わせをする。

### Beyond the Word

このセクションでは、文の省略と引用について取り上げる。

- 1 テキストの指示に従って、エクササイズを行わせる。
- 2 クラス全体で答合わせをする。

### Reading Three

- 1 テキストの指示に従って、エクササイズを行わせる。
- 2 クラス全体で答合わせをする。高校生など年令の若い学習者にとっては解決法を思い付くのが難しいかもしれない。

### Beyond the Text

- 1 テキストの指示に従って、エクササイズを行わせる。
- 2 自分の考えた、あるいは知っている解決法を読み上げる。

- 3 クラス全体で、出された解決法の中で一番良い方法を選択する。

### **Extension**

- 1 各学習者は、自分自身に欲しいアドバイス、あるいは知り合いが困っていることなどを、2つ考えて紙に書く。
- 2 クラス・メレーの形態で、2つの問題点についての解決法をそれぞれ2つずつ聞いてまわる。
- 3 聞かれた学習者はそれに答える。
- 4 質問した方は、もらったアドバイスを簡潔にメモすると同時に答えた人の名前を添えておく。
- 5 終わったら席に戻り、各問題点について、どちらの解決法が自分に合っているかを考え、合っている方または近い方に印をつける。
- 6 クラス全体で、印をつけてもらえた数が多かった学習者、つまりベスト・アドバイザーは誰であったかを見つけだす。

## Unit 9: US and UK English

### Objectives

- \* スキャニング
- \* 文中のある単語や考え等の意味を、文脈から理解する。(一つの単語に複数の意味がある時、その意味を文脈によって使い分ける、或いは認識をすることができる)
- \* 一つの単語を基とする、違う品詞の単語グループ

### Lesson Lead In

- 1 下記を板書する。  
Dollar, cricket, baseball, donuts, The Queen, Hollywood, Scotland, Pound,  
Big Mac, Double-decker bus
- 2 学習者に、これらの単語を2つのカテゴリーに分けるよう指示する。  
カテゴリー (the US and UK) を板書してもよいし、またはカテゴリー 自体をも学習者に推測させてもよい。

### Warmer

これは、実際興味深いセクションです。何故ならイギリス英語とアメリカ英語はとても異なるものだと考えられることが多いからです。テキストやコースブックについて、頻繁に聞かれる最初の質問の一つは、「これはイギリス英語、それともアメリカ英語で書かれていますか？」というものです。実際には、この『2つの』言葉の違いはさほど大きくないのですが、どちらの『ブランド』にもそれぞれに言葉遣いのバリエーションが多く見られるのは事実です。

- 1 テキストの指示に従って、エクササイズを行わせる。
- 2 クラス全体で答えあわせをする。

### Alternate Bilingual Warmer One:

- 1 下記の質問を口述 (あるいは板書) する。
  - a) I often eat chips at lunch.
  - b) I saw a great jumper on Sunday.
  - c) The keys are in the boot over there.
  - d) How did you find this book?

e) He gave me a ring.

- 2 5つの文を聞き取ってきちんと書けているかを、学習者同士で確認させる。学習者に、指導者に対して質問させてもよい。(Could you say it again? How do you spell \_\_\_?)
- 3 学習者全員がきちんと5つの文を書けたことを確認したら、それらの文を日本語に訳させる。
- 4 訳した日本語を学習者から引き出し、それを板書する。
- 5 5つの文に登場するキーワードに関わる、意味のあいまいな部分を確認する。

chips, jumper, boot, find, ring

- 6 各単語のイギリス英語、アメリカ英語での意味は下記のとおり：

	the US	UK
chips	ポテトチップ	フライドポテト
jumper	ジャンパー	セーター
boot	ブーツ	自動車のトランク
find	見つける	何かについての感想
ring	指輪	電話（をかける）

### Reading One:

このエクササイズでは、イギリス英語とアメリカ英語の大きな違いを提示する、34ページの本文と35ページの絵を結び付けることが要求されている。

- 1 テキストの指示に従って、エクササイズを行わせる。
- 2 クラス全体で答えあわせをする。

### Reading Two

このエクササイズでは、学習者は詳細を得ることが目的である。

- 1 テキストの指示に従って、エクササイズを行わせる。
- 2 クラス全体で答えあわせをする。

### Words

言葉の使い方にはいくつかの違いがあるも、どの言葉もアメリカ・イギリスどちらの国でも通用する単語である。(そして、当然のことながら、それ以外の数多

くの英語を使っている世界の国々でも！)

- 1 テキストの指示に従って、エクササイズを行わせる。
- 2 クラス全体で答合わせをする。

### **Beyond the Word**

一つの単語を基とする、違う品詞の単語グループ

- 1 テキストの指示に従って、エクササイズを行わせる。
- 2 クラス全体で答合わせをする。

### **Reading Three**

このエクササイズでは、36ページの絵を見て、35ページの本文および36ページの単語リストを参照しながら行う。

- 1 テキストの指示に従って、エクササイズを行わせる。
- 2 クラス全体で答合わせをする。

### **Beyond the Text**

- 1 学習者をグループにし、テキストの指示に従ってエクササイズを行わせる。  
る。
- 2 クラス全体で答を比較してみる。
- 3 提示された個々の表現について、クラス全体でその言葉が他の地方でも通じるかどうかについて話し合ってみる。

### **Extension**

世界には、様々なタイプの英語があります。下記は、言葉と意味をマッチさせるエクササイズに使える語群です。板書する際には、順序をばらばらにして書くようにしてください。

国名	言葉	意味
Australia	walkabout	to be absent from
Canada	skookum	great
West Africa	go-slow	a traffic jam
Pakistan	freeship	a scholarship
Scotland	ken	to understand
Singapore	blur	confused

## Unit 10: Grids and Maps

### Objectives

- \* 意味をつかむためのリーディング
- \* 数量の表現
- \* 代名詞の用法
- \* 受け身の表現

### Lesson Lead In

- 1 学習者に、車の運転をするかと問いかける。次に、地図をみながら、初めて行く場所へ車でいくのは得意かとたずねる。運転しない学習者なら、ナビゲーターをつとめるのは上手かとたずねる。
- 2 学習者を数人のグループにし、互いに上記1) について質問させる。

### Alternate Lesson Lead In

- 1 学習者に、「話を聞かない男、地図を読めない女」を読んだことがあるかとたずねる。もし読んだ学習者がいれば、おもしろかったか、標題に関して同意見かなど、質問をいくつか試してみる。
- 2 「女は地図を読めない」というのは本当かどうか、3人位のグループになってディスカッションさせる。

### Warmer

- 1 テキストの指示に従って、エクササイズを行わせる。
- 2 クラス全体で答えあわせをする。

さらに、下記の質問を聞いてもよい。

- What big cities are at the same latitude as your city?
- What big cities are at the same longitude as your city?

### Reading One

- 1 テキストの指示に従って、エクササイズを行わせる。
- 2 クラス全体で答えあわせをする。(正解：Sheerness)

## Reading Two

- 1 テキストの指示に従って、エクササイズを行わせる。
- 2 クラス全体で答えあわせをする。ただし、正解は必ずしも1つとは限らない。例えば、1番目の文では、BasildonもBillericayも正解である。

## Words

### Part 1.

- 1 テキストの指示に従って、エクササイズを行わせる。
- 2 クラス全体で答えあわせをする。

### Part 2.

- 1 テキストの指示に従って、エクササイズを行わせる。
- 2 クラス全体で答えあわせをする。

## Beyond the Word

- 1 テキストの指示に従って、エクササイズを行わせる。
- 2 クラス全体で答えあわせをする。

## Reading Three

- 1 テキストの指示に従って、エクササイズを行わせる。
- 2 クラス全体で答えあわせをする。

## Beyond the Text

これは、何らかのシステムを説明する練習をさせるエクササイズである。学習者が、様々な種類の地図についての知識にかけているようであれば、地図だけに限らず何か他の事物について、そのシステムを説明させるよう、変化を加えればよい。別のタスクに簡単に入れ替えることができる。

- 1 学習者をグループにし、テキストの指示に従ってエクササイズを行わせる。
- 2 クラス全体で答を比較してみる。

## Extension

そのクラスの学習者の知識や力などに応じて、何らかの行程について手順を書かせる。例えば：

教室（学校、会社）へ来る手順

ある料理の調理手順

新しいソフトをインストールする手順

ビデオのタイマー予約の手順

携帯電話や PHS の番号をメモリーさせる手順      など

## Unit 11: Eavesdropping

### Objectives

- \* スキミング
- \* スキャニング
- \* さまざまな談話 (discourse) を理解する
- \* 談話指標を理解する：物語体
- \* 指示 (ある単語が、テキストのどの部分を指しているかを理解する)

### Lesson Lead In

冒頭の質問を使う。これらの質問は、このユニットの導入のためのアクティビティとして、ペアやグループワーク、あるいはクラスメレーの形態で行うことができる。

### Alternate Lesson Lead In

1 自分の経験について学習者に話して聞かせる。

例えば：

Today I was waiting for the train on a bench. I was reading the newspaper.

Beside me there was a high school girl who was using her cellular phone and was speaking in a loud voice. I didn't want to listen to her, but her voice was so loud. I heard what she was saying.

What do you think she was talking about?

2 学習者に、答をいくつか考えさせる。聞き出しながら板書するか、学習者に自分の答を板書させる。

3 書き出された答にクラス全体で目を通したあと、本当の答を話す。

She was talking about not being able to get the big teddy bear prize in a UFO catcher machine at a Game Center

the night before and she had spent a lot of money.

## Warmer

- 1 テキストの指示に従って、エクササイズを行わせる。
- 2 クラス全体で答えあわせをする。

## Reading One

このスキミング・エクササイズは、ごく短時間で行わなければならない。注意深く読み込む時間を与えることなく、話と絵を結び付けるのに必要な情報を素早く得るよう指示する。

- 1 テキストの指示に従って、エクササイズを行わせる。
- 2 クラス全体で答えあわせをする。

## Reading Two

このエクササイズのねらいは、決まった談話形式を認識し、使用言語と文脈設定とを結び付けるということにある。質問 a は難しいが、他の4つの答を先に見つけるという消去法で答えることができる。

- 1 テキストの指示に従って、エクササイズを行わせる。
- 2 クラス全体で答えあわせをする。

## Words

- 1 テキストの指示に従って、エクササイズを行わせる。
- 2 クラス全体で答合わせをする。

## Beyond the Word

### Part 1.

このエクササイズは、語彙の使い方や書き方を少し変化させる、という作業を助けるものである。

- 1 テキストの指示に従って、エクササイズを行わせる。
- 2 クラス全体で答合わせをする。

### Part 2.

多くの学習者にとって読み書きをするときに難しいのは、ある単語（代名詞等）がテキスト内のどの部分を指し示しているかということを見つける、あるいは

逆にどの部分が他の単語や代名詞等に置き換えられているかを理解することである。このアクティビティは、代名詞とそれが指す名詞の関係に慣れるようになるために用意されている。

- 1 テキストの指示に従って、エクササイズを行わせる。
- 2 クラス全体で答合わせをする。

### **Reading Three**

これは、本文の全般的な内容が理解できているかをチェックするためのエクササイズである。

- 1 テキストの指示に従って、エクササイズを行わせる。
- 2 クラス全体で答合わせをする。

### **Beyond the Text**

- 1 テキストの指示に従って、エクササイズを行わせる。
- 2 クラス全体で答合わせをする。

### **Extension**

- 1 各学習者に今まで自分が聞いた中で一番おかしな立ち聞き、あるいはおかしな場所で聞いた立ち聞きについて書かせる。
- 2 その時、物語り形式で書くこと、そしてテキストの本文のように最後に落ちがくるように書くこと、という指示を出しておく。

ペア、或いはグループになり、互いの話を聞かせあい、一番面白い話を選ぶ。

## Unit 12: On Tour

### Objectives

- \* スキミング
- \* 詳細を読み取る
- \* 前置詞の用法

### Lesson Lead In

- 1 学習者に海外旅行をしたことがあるかどうかをたずね、どこ（国）へ行ったかを聞く。
- 2 その国のどんな場所を訪ねたかを聞いてみる。博物館、遺跡などといったこのユニットに関係のある単語が出たら、板書していく。
- 3 もし、クラスに留学生がいれば、日本国内を旅行したことがあるかどうかをたずね、同じように質問し、板書する。

### Warmer

"historic", "hot springs", "wilderness", "ruins" などといった単語を学習者が知らないケースもあると思われる。こうした単語は、このセクションのエクササイズを行う前にあらかじめ確認あるいは教える必要がある。これは、例えば下記のような方法で行うことができる。

まず下記を板書する。

- 1) a pool or small pond with warm or hot water.
- 2) very old, important in history
- 3) old buildings that are no longer standing; old buildings broken by time
- 4) area or region in the woods or jungles or forests. Places with many animals and no cities.

上記の説明にあった単語を、テキストにある単語とマッチさせるよう指示する。

- 1 必要な語彙の意味の確認ができれば、テキストの指示通りにエクササイズを行わせる。
- 2 クラス全体で答えあわせをする。

### Warmer Extension

- 1 学習者に、"Where would you like to go in your country?" と聞く。
- 2 下記のような質問を、教えている国に合わせて用意し、口述もしくは板書する。例えば、日本で教えている場合に適切と思われる質問には下記のようなものがある。
  - Where is a good place to enjoy hot springs in Japan?
  - Where can you see ruins in Japan?
  - Where can you see a famous castle?な
- 3 個々の質問に対しての答を学習者から引き出すと同時に、どの答を支持するかを聞いていく。この作業をしながら語彙を復習し、また学習者に当該ユニットのターゲットであるツアーについて意識させることができる。(schematic consciousness rising)

### Reading One

- 1 テキストの指示に従って、エクササイズを行わせる。
  - 2 クラス全体で答えあわせをする。
- 2と4の絵は少し難しいかもしれないが、ここでのキーワードは "castle on the rock" と "cathedral" である。

### Reading Two

このエクササイズでは、より詳細を読み込むことが学習者に要求される。

- 1 テキストの指示に従って、エクササイズを行わせる。
- 2 クラス全体で答えあわせをする。

## HISTORY OF THE BEATLES- STUDENT A

_____	· Ringo Starr is born in Liverpool.
Oct. 9th, 1942	· Lennon was born in Liverpool, England.
_____	· Paul McCartney is born in Liverpool.
Feb. 25th, 1943	· George Harrison is born in Liverpool.
July 6th, 1957	_____
Feb. 6th, 1958	· Paul introduces George to John.
_____	· The Beatles go to Hamburg in Germany.
Jan. 2nd, 1962	· The Beatles make Brian Epstein their manager.
April 10th, 1962	_____
Aug 16th, 1962	· Ringo Starr joins The Beatles.
_____	· The Beatles release "Love Me Do".
Feb. 11th, 1963	· The Beatles record the album "Please Please Me".
_____	· The Beatles play at the Cavern Club for the last time.
Oct. 13, 1963	· The Beatles appear on TV across England.
Feb. 1st, 1964	_____
Feb. 7th, 1964	· The Beatles arrive in New York for the 1th time.
Feb. 9th, 1964	_____
Feb. 11th, 1964	· The Beatles give their first concert in the US.
_____	· The Beatles start making the film "A Hard Day's Night".
July 6th, 1964	· The Beatles first movie "A Hard Day's Night" premieres.
_____	· The Beatles receive special awards from the Queen.
Aug. 29th, 1966	· The Beatles give their last concert
_____	· The Beatles release the album "Sgt. Pepper's".
Feb. 15th, 1968	· The Beatles go to India to study meditation.
May 15th, 1968	_____
Jan. 4th, 1970	· The Beatles work in the studio for the last time

## HISTORY OF THE BEATLES- STUDENT B

July 7th, 1940

- Ringo Starr is born in Liverpool.

\_\_\_\_\_

- Lennon was born in Liverpool, England.

June 18th, 1942

- Paul McCartney is born in Liverpool.

\_\_\_\_\_

- George Harrison is born in Liverpool.

July 6th, 1957

- John Lennon meets Paul McCartney.

\_\_\_\_\_

- Paul introduces George to John.

Aug. 16th, 1960

- The Beatles go to Hamburg in Germany.

Jan. 2nd, 1962

\_\_\_\_\_

April 10th, 1962

- Former Beatle Stuart Sutcliffe dies.

\_\_\_\_\_

- Ringo Starr joins The Beatles.

Oct. 5th, 1962

- The Beatles release "Love Me Do".

\_\_\_\_\_

- The Beatles record the album "Please Please Me".

Aug. 3rd, 1963

- The Beatles play at the Cavern Club for the last time.

Oct. 13, 1963

\_\_\_\_\_

Feb. 1st, 1964

- The Beatles get their first US #1 hit.

Feb. 7th, 1964

\_\_\_\_\_

Feb. 9th, 1964

- The Beatles appear on "The Ed Sullivan Show".

\_\_\_\_\_

- The Beatles give their first concert in the US.

March 2nd, 1964

- The Beatles start making the film "A Hard Day's Night".

\_\_\_\_\_

- The Beatles first movie "A Hard Day's Night" premieres.

Oct. 26th, 1965

- The Beatles receive special awards from the Queen.

Aug. 29th, 1966

\_\_\_\_\_

June 1st, 1967

- The Beatles release the album "Sgt. Pepper's".

\_\_\_\_\_

- The Beatles go to India to study meditation.

May 15th, 1968

- The Beatles form the company Apple Corp.

\_\_\_\_\_

- The Beatles work in the studio for the last time